

励まし初の定期演奏会

8日 松本秀峰オーケストラ部

「頑張る姿を見て聞いてほしい」と張り切る部員たち



松本市の松本秀峰中等教育学校オーケストラ部は8日午後2時から、第1回定期演奏会を同校1階ホールで開く。ほとんどの生徒が楽器を手にするのは初めて、楽譜も読めない状況からスタート。励まし合って練習した成果を披露する。

(八代啓子)

「オーケストラファストリーズ」となりのトトロは、映画「となりのトトロ」の物語に沿った組曲。部員25人に加え、部員以外の同校生徒、信大交響楽団員、同校の教員が賛助出演。ピアノやパーカッション奏者を含

む、34人の大編成で演奏する。場面が分かるナレーションや、楽器の紹介も入れて楽しめる曲に仕上げた。

中沢冬芽君(3年)のバイオリン独奏によるベートーベン「ロマンズ第2番(長調Op.50)」、ヘンデル「水上の音楽第2組曲」もあつた。

オーケストラ部は、開校時の2010年4月、11人で始動した。大半が初心者のため、顧問の瀬川伸教諭(34)が楽器の持ち方や楽譜の読み方などを一から指導。コンクールがないため、「モチベーション」の維持が難しかったが、毎年9月の文化祭での演奏を目標にこつこつと練習を重ねた。

初舞台を経験し「人前での演奏は、大きな自信につながった」と言う生徒の中には、週3回の部活に加え、朝練習をする人も。「もつと技術を磨こう」と、信大交響楽団のコンサートマスター、新井光一郎さん(工学部4年)に、指導を受ける機会もあつた。

演奏会は、ここまで頑張った自分たちの姿を、地域の人や小学生に見てもらおう場もある。滝沢愛部長(14)は「リズムの速いところなどは、なかなか合わない。まだ未熟だが、精いっぱい頑張つて良い演奏をしたい」と張り切っている。予約不要。同校☎31・83311